



# 世田谷文学館友の会

## お知らせ 第141号

平成30年12月14日  
世田谷文学館友の会  
〒157-0062  
世田谷区南鳥山1-10-10  
TEL 03-5374-9111  
FAX 03-5374-9120  
ホームページ  
<http://setabuntomo.net/>

### 新春散歩 向島ゆかりの文人たちを訪ねる ～幸田露伴、吉川英治、森鷗外、佐多稲子…らの旧居跡など～

昨年の中春散歩は、お江戸両国を小粋に歩きましょうと、活気のある両国橋界隈を巡りました。同じ墨田区でも隅田川を両国橋から吾妻橋、言問橋、桜橋と上がっていくと、そこは下町の風情と静寂の相まった向島。幸田露伴や森鷗外が何故にそこに暮らしたのか、何がそんなに文人たちを惹きつけたのか。新春の空気のピ〜ンと張った朝、気持ちも新たに心を研ぎ澄まして、その地に入り込んでみませんか。

- 日 時 : 平成31年1月23日(水) 午前9時50分集合 (小雨天決行)
- 集合場所 : 「曳舟駅」(東武スカイツリーライン、東武亀戸線) 改札口前 (会旗あり)
- \*新宿からの交通例①: 08:48 新宿(地下鉄丸ノ内線・池袋行) → 赤坂見附下車、同駅内徒歩、09:03 永田町(地下鉄半蔵門線急行・南栗橋行に乗り換え) → (押上・下車せず) → 09:32 曳舟(東武スカイツリーライン) 着 <乗換1回>
- \*新宿からの交通例②: 08:54 新宿(都営新宿線・大島行) → 住吉下車、09:24 住吉(地下鉄半蔵門線急行・南栗橋行に乗り換え) → (押上・下車せず) → 09:32 曳舟(東武スカイツリーライン) 着 <乗換1回>
- コース : **午前** 10時～正午 向島～言問通りまで。  
曳舟駅を出発～墨田川高校の校歌碑(幸田露伴作詞「隅田の川は吾が師なり」で始まる)～幸田露伴旧居跡(区内3番目の家「第二蝸牛庵」)～吉川英治旧居跡～依田學海旧居跡(森鷗外の師)～野口雨情歌碑～正岡子規仮寓の地(「長命寺桜もち」店2階を3ヶ月ほど間借り、「月香楼」と名付けた)～淡島寒月旧居跡(弘福寺敷地内に父・淡島椿岳が隠居所を、寒月は「梵雲庵」と名付けた。幸田露伴や尾崎紅葉などを文壇に紹介。)～森鷗外旧居跡(すみだの地に由来したペンネーム「牽舟居士」)～小梅通りの堀辰雄旧居跡(2歳のときに向島小梅町へ 中野重治らと同人誌「驢馬」を創刊、窪川鶴次郎や窪川と結婚した田島イネ(佐多稲子)らが集った)～佐多稲子旧居跡(自叙伝「私の東京地図」には長く暮らした向島のことが書かれている)
- 昼食** 言問橋のたもとの「下町割烹 上総屋」にて昼食(三段重弁当)
- 午後** 1時～2時半 「すみだ郷土文化資料館」にて特集展示「隅田川七福神と向島の名所」などを観覧、ボランティアガイドによる解説あり。  
2時半～最寄駅「押上(スカイツリー前)駅」(地下鉄半蔵門線)、「とうきょうスカイツリー駅」(東武スカイツリーライン)、「本所吾妻橋駅」(都営浅草線)などへ。  
(午後3時解散予定、歩行約4km)
- 案内人 : 一般社団法人墨田区観光協会ガイド 数名
- 参加費 : 2700円(イヤホンガイド料、昼食代、入館料含む)
- 募集人数 : 30名(応募多数の場合は抽選)
- 申込締切日 : 平成31年1月10日(木) 必着

俳句鑑賞会 平成31年1月22日(火) 2月26日(火) 午前10時半～正午  
文学館2階講義室 参加費 200円 秀句一句とご自作があれば一句お持ちください。

\*次のお知らせ142号は、2月上旬発行の予定です。

(裏面に続く)

## 講座 啄木短歌の魅力

講師 大室 精一氏

啄木の短歌は平易で誰もが簡単に理解できると信じられています。もちろん、感覚的にすぐ共鳴できる歌が多いのは事実ですが、なかなか一筋縄ではいかない作品も多いのが啄木短歌の特色です。以前私は、国語科の教員研修会の講師をした時、「あなたの授業は間違いだらけ」というテーマで話したことがあります。その中には啄木短歌も含まれていて、誰もが知っている有名な歌なのに何と全員が勘違いしていた不思議な作品もありました。

そこで本講座では、啄木短歌の魅力について、(意外な一面も含め)楽しみながら勉強したいと考えています。まず前半の部では、「神童」「離散」「流離」「思郷」「共感」「思慕」「母親」「挽歌」のキーワードの順に代表歌をオーソドックスに鑑賞します。そして後半の部では、啄木独自の編集意識に着目して、最新の研究成果を踏まえながら、<つなぎ歌>の手法、「初版本」と「歌数」の秘密、「推敲」の特色などを考えます。

(講師メッセージ)

講師 : 大室 精一氏 (元・佐野日本大学短期大学教授、国際啄木学会副会長)  
日時 : 平成31年2月1日(金) 午後2時～4時  
会場 : 世田谷文学館 2階 講義室  
参加費 : 会員800円、会員以外1000円  
申込締切日 : 平成31年1月22日(火) 必着 (応募者多数の場合は抽選)



### ～～20周年を迎えた世田谷文学館友の会～～

会員諸氏のご協力を得て、友の会は創立20周年を迎えました。この記念として、菅野昭正文学館館長のお手を煩わし、オリジナルのクリアホルダーを作成して会員の皆様に配布させていただく事となりました。ご愛用いただくとともに、今後とも友の会の更なる発展にご尽力くださいますよう、心よりお願い申し上げます。

世田谷文学館友の会 会長 平出 洸

### 【世田谷文学館からのお知らせ】

次回企画展 “ヒグチュウコ展 CIRCUS [サーカス]” 2019年1月19日(土)～3月31日(日)

詳細・関連イベントは「世田谷文学館」Webにも発表されますのでご参照ください。

「世田谷文学館」>「次回の企画展」><https://www.setabun.or.jp/exhibition/next.html>

**お知らせ** 都内有数の梅林がある世田谷区梅ヶ丘・羽根木公園で、梅の見頃時期にあわせて毎年2月～3月に「せたがや梅まつり」が開催されます。2019年の詳細は「世田谷区」Webをご確認ください。「世田谷区」>「せたがや梅まつり」><http://setagaya-umematsuri.com/>  
また、せたがや文化財団もテントブースを設営する予定です。

### <講座・散歩の参加申込み方法>

「往復はがき」に下記の事項を記入してお申し込みください。

①講座・散歩名 ②参加希望日 ③会員番号(会員以外の方は「非会員」と明記) ④住所・氏名・電話番号(散歩応募の場合は携帯番号) ⑤ご希望の講座・散歩など。連名申込み可(③と④を必ずご記入)。

参加費は当日お支払いください。

お一人が複数の講座・散歩をお申し込みの場合は、それぞれ別の往復はがきにてお申し込みください。

※参加を取り消される際には必ずご連絡ください。

宛先 〒157-0062 世田谷区南烏山1-10-10 世田谷文学館友の会 TEL 03-5374-9111

FAX 03-5374-9120

ホームページ 「世田谷文学館友の会」> <http://setabuntomo.net/>